



異常の検出のアクティブ化

ユーザがゾーンの異常検出をアクティブにすると、Detector モジュールは、受信するゾーンのトラフィックのコピーにゾーンのポリシーを適用します。トラフィックの異常によってポリシーのしきい値の超過が発生し（攻撃の兆候が示され）、ポリシーのアクションがトリガーされると、Detector モジュールは、ユーザに通知を送信するか、Cisco Anomaly Guard Module をアクティブにします。この章では、WBM を使用してゾーンの異常の検出をアクティブにし、管理する方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [異常の検出のオプション](#)
- [異常の検出の管理](#)
- [動的フィルタの管理](#)
- [動的フィルタに対する Detector モジュールの推奨事項の管理](#)
- [ゾーンの動作モードの変更](#)

異常の検出のオプション

Detector モジュールには、異常の検出を実行するためのオプションがいくつか用意されています。たとえば、異常検出の処理すべてを Detector モジュールで管理するように設定することも、攻撃の進行中にユーザが Detector モジュールを監視し、指示することもできます。

この項は、異常の検出に関する次の情報で構成されています。

- [Detect と Detect and Learn](#)
- [自動動作モードとインタラクティブ動作モード](#)

Detect と Detect and Learn

WBM を使用してゾーンの異常検出を手動でアクティブにする場合、Detector モジュールでは次のオプションを選択できます。

- **Detect** : Detector モジュールは、ゾーンのトラフィックを分析し、トラフィックの異常を検出すると、動的フィルタの作成を開始します。
- **Detect and Learn** : Detector モジュールは、ゾーンのトラフィックに異常がないかどうか分析すると同時に、ラーニング プロセスのしきい値調整フェーズを開始します。Detector モジュールは、しきい値調整フェーズのトラフィックを分析しながら、ゾーン設定のポリシーしきい値を新しいしきい値情報に合わせて自動調整します。Detector モジュールは、トラフィックの分析中に攻撃を検出すると、しきい値調整フェーズを一時停止します。ゾーンへの攻撃が終了すると、Detector モジュールは、しきい値調整フェーズと異常の検出をともに再開します。

自動動作モードとインタラクティブ動作モード

Detector モジュールは、攻撃の進行中に 2 つの動作モードのいずれかで動作し、作成した動作フィルタを自動的にアクティブにするか、動的フィルタをアクティブにするかどうかユーザが決定するのを待ちます。ゾーン設定を定義する場合、次のいずれかの設定を選択して、Detector モジュールの動作モードを設定します。

- **Automatic operation mode** : Detector モジュールは、作成した動的フィルタをユーザの介入なしで自動的にアクティブにします。
- **Interactive operation mode** : Detector モジュールが作成した動的フィルタをアクティブにするか無視するかをユーザが選択します。インタラクティブ動作モードを使用すると、Detector モジュールで攻撃の分析、および提案された動的フィルタのキューイングを継続しながら、ユーザは異常検出の手段を決定できます。

ゾーンの設定の動作モード設定値は、いつでも変更することができます。

異常の検出の管理

この項の手順では、ゾーン トラフィックの異常の検出を手動でアクティブまたは非アクティブにする方法について説明します。

異常の検出のアクティブ化



異常の検出をアクティブにするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、異常の検出をアクティブにします。

- ザーンのステータス画面の **Detect & Learn** または **Detect** をクリックします。
- ザーンのメイン メニューの **Detection > Detect** を選択します。

次の処理が実行されます。

- **Detector** モジュールがトラフィック フローの分析を開始して、トラフィックの異常を検出します。
 - ザーンの名前が、ナビゲーションペインの **Under Detection** ザーン リストに追加されます。
 - ザーンのステータス アイコンが、スタンバイ  から検出  に変更されます。
 - **Recent Events** テーブルに、検出が実行されているゾーンの詳細なリストとともに、検出開始のイベント タイプが表示されます。
-

トラフィック異常の検出の確認

ゾーンのステータス画面からトラフィックのカウンタを表示すると、異常の検出プロセスが正常に動作しているかどうかを確認できます。

ナビゲーション ペインで、検出実行中のゾーンをクリックしてゾーンのステータス画面を表示します。次の条件を満たしている場合、異常の検出が機能しています。

- **Recent Events** テーブルに、検出が実行されているゾーンの詳細なリストとともに、検出開始のイベント タイプが表示されます。
- **Traffic Rate** テーブルの受信トラフィック レートが 0 より大きい値を示します。

異常の検出の非アクティブ化



異常の検出を非アクティブにするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインで、検出実行中のゾーンをクリックします。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、異常の検出を非アクティブにします。

- ゾーンのステータス画面の **Deactivate** をクリックします。
- ゾーンのメイン メニューの **Detection > Deactivate** を選択します。

次の処理が実行されます。

- **Detector** モジュールは、ゾーン トラフィックの分析を停止します。
 - ゾーンの名前が、ナビゲーション ペインの **Protected Zones** リストから削除されます。
 - ゾーンのステータス アイコンが、検出  からスタンバイ  に変更されます。
 - **Recent Events** テーブルに、検出が実行されていないゾーンの詳細なリストとともに、検出停止のイベント タイプが表示されます。
-

動的フィルタの管理

Detector モジュールは、ユーザがゾーンの異常検出をアクティブにし、Detector モジュールで攻撃を検出した後でのみ、動的フィルタを作成します。このため、動的フィルタを表示および管理できるのは、ゾーンに対する攻撃が発生しているときのみです。

動的フィルタのリストの表示

動的フィルタのリストを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインで、検出実行中のゾーンを選択します。ゾーンのメインメニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、動的フィルタのリストを表示します。

- ゾーンのメインメニューの **Detection > Dynamic filters** を選択します。
- ゾーン ステータス ページのゾーンのステータス テーブルで、**Active Dynamic filters** をクリックします。

Dynamic filters 画面が表示されます。

動的フィルタのテーブルには、動的フィルタを作成したポリシーに基づいてフィルタリングされた動的フィルタが示され、進行中の攻撃に関する情報が表示されます。表 9-1 に、動的フィルタのテーブルに表示される情報の説明を示します。

表 9-1 動的フィルタに含まれているフィールドの説明

フィールド	説明
Created by	動的フィルタを作成したポリシー。ポリシーの名前をクリックすると、ポリシーの詳細が表示されます。
Activation	動的フィルタがアクティブになった日時。
Expiration	フィルタの有効期限が満了する時刻。この時刻を過ぎると、動的フィルタは消去されます。

表 9-1 動的フィルタに含まれているフィールドの説明（続き）

フィールド	説明
Src IP	動的フィルタの適用対象となる送信元 IP アドレス。
Protocol	動的フィルタの適用対象となるプロトコルの番号。
Dst Port	動的フィルタの適用対象となる宛先ポート。
Fragments	攻撃ストリームの中に、断片化されたパケットが含まれているかどうかを示します。
Action	動的フィルタが実行するアクション。
Rate (pps)	概算の攻撃レート。
Details	このフィルタに関する追加情報が存在するかどうかを示します。i をクリックすると、追加情報が表示されます。

パラメータの値が * となっている場合は、次のいずれかの状態であることを示します。

- 値が定義されていない。
- フィルタのパラメータに対して複数の値が測定された。

特定の動的フィルタの詳細の表示については、「動的フィルタの詳細の表示」の項を参照してください。

動的フィルタの詳細の表示

特定の動的フィルタの詳細情報を表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインで、検出実行中のゾーンを選択します。ゾーンのメインメニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、動的フィルタのリストを表示します。

- ゾーンのメインメニューの **Detection > Dynamic filters** を選択します。
- ゾーンステータス ページのゾーンのステータス テーブルで、**Active Dynamic filters** をクリックします。

Dynamic filters 画面が表示されます。

- ステップ 3** 目的の動的フィルタの **Details** カラムにある **i** をクリックします。Dynamic filter details 画面が表示されます。

Dynamic filter details 画面には、次の情報を表示する 3 つのテーブルが含まれています。

- 動的フィルタを作成したポリシー。
- 攻撃フローに関する情報。
- 動的フィルタを作成したトリガーに関する情報。表 9-2 に、トリガーのパラメータの説明を示します。

表 9-2 トリガーに含まれているフィールドの説明

フィールド	説明
Policy Threshold	ポリシーで定義され、攻撃によって超過したしきい値。
Triggering rate	動的フィルタの作成原因となった攻撃の概算レート。

動的フィルタの削除

すべての動的フィルタを削除できますが、削除が有効である期間は限られています。これは、動的に変化するトラフィックの状態に合わせて、Detector モジュールが攻撃の進行中に新しい動的フィルタを設定し続けるためです。

動的フィルタを削除するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーション ペインで、検出実行中のゾーンを選択します。ゾーンのメインメニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

- ステップ 2** 次のいずれかの方法で、動的フィルタのリストを表示します。

- ゾーンのメインメニューの **Detection > Dynamic filters** を選択します。
- ゾーン ステータス ページのゾーンのステータス テーブルで、**Active Dynamic filters** をクリックします。

Dynamic filters 画面が表示されます。

ステップ 3 削除する動的フィルタの隣にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 4 **Delete** をクリックします。動的フィルタが削除されます。

不要な動的フィルタの作成の防止

Detector モジュールで不要な動的フィルタが作成されないようにするには、次の方法があります。

- 動的フィルタを作成するポリシーを非アクティブにする。ポリシーの動作状態の変更の詳細については、[第 8 章「ゾーンのポリシーの管理」](#)の「[単一のポリシーの変更](#)」の項を参照してください。動的フィルタのリストを表示して、不要な動的フィルタを作成したポリシーを発見するには、「[動的フィルタのリストの表示](#)」の項を参照してください。
- 対象となるトラフィック フローにバイパス フィルタを設定する。バイパスフィルタの設定の詳細については、[第 5 章「ゾーンのフィルタの設定」](#)の「[バイパス フィルタの管理](#)」の項を参照してください。
- 不要な動的フィルタを作成したポリシーのしきい値を大きくする。ポリシーのしきい値の変更の詳細については、[第 8 章「ゾーンのポリシーの管理」](#)の「[単一のポリシーの変更](#)」の項を参照してください。


動的フィルタに対する Detector モジュールの推奨事項の管理

インタラクティブ保護モードで異常の検出を実行する場合、Detector モジュールは、攻撃の進行中に作成する動的フィルタのキューを作成します。キューイングされた動的フィルタは、保留動的フィルタと呼ばれます。Detector モジュールは、保留動的フィルタを作成したポリシーに従って保留動的フィルタをグループ化し、Detector モジュールの推奨事項としてユーザに提示します。ユーザは Detector モジュールの推奨事項（関連付けられているすべての保留動的フィルタを含む）に対応することも、各保留動的フィルタに個別に対応することもできます。

この項では、次の手順について説明します。

- [Detector モジュールの推奨事項の表示](#)
- [Detector モジュールの推奨事項の表示と推奨事項への対応](#)
- [推奨事項の保留動的フィルタの表示](#)
- [保留動的フィルタの詳細の表示](#)
- [保留動的フィルタの受け入れ](#)

Detector モジュールの推奨事項の表示

Detector モジュールでは、新しい推奨事項が使用可能になると、Detector モジュールの推奨事項のアイコン  が表示されます。このアイコンは、次の位置に表示されます。

- ナビゲーション ペインにある、All Zones リストのゾーン アイコンの隣
- ナビゲーション ペインにある、Protected Zones リストのゾーン アイコンの隣
- ゾーン ステータス ページにあるゾーン ステータス バー
- ゾーン リストのテーブル

Detector モジュールに新しい推奨事項がある場合は、ゾーンのステータス画面に表示される保留動的フィルタの数が 0 を超えています。

Detector モジュールの推奨事項のリストを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、推奨事項のリストを表示します。

- ザーンのメイン メニューの **Detection > Recommendations** を選択します。
- ザーンのステータス画面のゾーン ステータス テーブルで、ゾーンのステータス要約にある **Pending Dynamic filters** をクリックします。

Recommendations 画面が表示されます。

表 9-3 に、推奨事項テーブルに含まれているフィールドの説明を示します。

表 9-3 推奨事項テーブルに含まれているフィールドの説明

フィールド	説明
ID	Detector モジュールが推奨事項に割り当てた識別番号。
Recommendation	Detector モジュールが推奨するアクション。
Created By	フィルタを作成したポリシー。ポリシーの名前をクリックすると、ポリシーの詳細が表示されます。
# of PFs	推奨事項を構成している保留動的フィルタの数。保留になっている各フィルタは、トラフィック フローがポリシーのしきい値を超過した結果、作成されたものです。数値をクリックすると、推奨事項に関連付けられている保留動的フィルタが表示されます。
Attack flow	攻撃フローに関する情報。次の情報が提供されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Src IP : 攻撃ストリームの送信元 IP アドレス。 • Protocol : 攻撃ストリームのプロトコル番号。 • Dst Port : 攻撃ストリームの宛先ポート。 • Dst IP : 攻撃ストリームの宛先 IP アドレス。
Thr.	攻撃フローが超過した、ポリシーのしきい値。

表 9-3 推奨事項テーブルに含まれているフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Min.	攻撃レートの最小値。いくつかの保留中フィルタを含んでいる推奨事項において、保留動的フィルタの最小のレートが表示されます。
Max.	攻撃レートの最大値。いくつかの保留中フィルタを含んでいる推奨事項において、保留動的フィルタの最大のレートが表示されます。
Creation	推奨事項が作成された日時。

パラメータの値が * となっている場合は、次のいずれかの状態であることを示します。

- Detector モジュールが値を特定できない。
- Detector モジュールが、フィルタのパラメータに対して複数の値を測定した。異なる値を表示するには、すべての保留動的フィルタのリストを確認します。

Detector モジュールの推奨事項の表示と推奨事項への対応

Detector モジュールの推奨事項を表示し、推奨事項に対応するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、推奨事項のリストを表示します。

- ゾーンのメイン メニューの **Detection > Recommendations** を選択します。
- ゾーンのステータス画面のゾーン ステータス テーブルで、ゾーンのステータス要約にある **Pending Dynamic filters** をクリックします。

Recommendations 画面が表示されます。

ステップ 3 Filters timeout ボックスに、フィルタのタイムアウト値 (秒) を入力します。

ステップ 4 目的の推奨事項の隣にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 5 必要なアクションを選択します。

- **accept** : 特定の推奨事項を受け入れます。Detector モジュールは、当該推奨事項に関連付けられている保留動的フィルタをアクティブにします。
- **always-accept** : 特定の推奨事項を常に受け入れます。現在の攻撃が進行している間、Detector モジュールは、当該推奨事項を作成したポリシーの推奨事項を自動的に受け入れます。Detector モジュールは、**always-accept** 推奨事項を表示しません。
- **always-ignore** : 特定の推奨事項を常に無視します。現在の攻撃が進行している間、Detector モジュールは、当該推奨事項を作成したポリシーの推奨事項を自動的に無視します。将来の攻撃でポリシーが推奨事項を作成しないようにするには、そのポリシーをディセーブルまたは非アクティブにします (第8章「ゾーンのポリシーの管理」の「単一のポリシーの変更」の項を参照)。特定の推奨事項への対応として決定した **always-ignore** は、その推奨事項の保留動的フィルタを作成したポリシーのインタラクティブ状態を変更することによって変更できます。

必要に応じて、推奨事項に関連付けられている動的フィルタをすべて受け入れるのではなく、保留動的フィルタの一部を選択して受け入れることもできます。詳細については、「[保留動的フィルタの受け入れ](#)」の項を参照してください。

推奨事項の保留動的フィルタの表示

Detector モジュールの推奨事項に関連付けられている保留動的フィルタを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、推奨事項のリストを表示します。

- ザーンのメイン メニューの **Detection > Recommendations** を選択します。

動的フィルタに対する **Detector** モジュールの推奨事項の管理

- ゾーンの状態画面のゾーン ステータス テーブルで、ゾーンの状態要約にある **Pending Dynamic filters** をクリックします。

Recommendations 画面が表示されます。

ステップ 3 目的の推奨事項の # of PFs (Pending Filters; 保留中のフィルタ) カラムに表示されている数値をクリックします。Pending dynamic filters 画面が表示されます。

表 9-4 に、保留動的フィルタのテーブルに含まれているフィールドの説明を示します。

表 9-4 保留動的フィルタに含まれているフィールドの説明

フィールド	説明
Created by	フィルタを作成したポリシー。ポリシーの名前をクリックすると、ポリシーの詳細が表示されます。詳細については、 第 8 章「ゾーンのポリシーの管理」 を参照してください。
Activation	フィルタが作成された日時。
Src IP	攻撃ストリームの送信元 IP アドレス。
Protocol	攻撃ストリームのプロトコル番号。
Dst Port	攻撃ストリームの宛先ポート。
Fragments	攻撃ストリームの中に、断片化されたパケットが含まれているかどうかを示します。
Action	フィルタが実行するアクション。
Recent rate	フィルタによって測定された現在の攻撃レート。
Rate (pps)	トリガー レート。動的フィルタの作成原因となった攻撃の概算レート。
Details	このフィルタに関する追加情報が存在するかどうかを示します。i をクリックすると、追加情報が表示されます。

パラメータの値が * となっている場合は、次のいずれかの状態であることを示します。

- 値が定義されていない。
- フィルタのパラメータに対して複数の値が測定された。

Detector モジュールでは、ポリシーが作成した動的フィルタは少なくともユーザが定義した期間中（フィルタ タイムアウト）はアクティブになります。

保留動的フィルタの詳細の表示

動的フィルタの詳細情報を表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの方法で、推奨事項のリストを表示します。

- ザーンのメイン メニューの **Detection > Recommendations** を選択します。
- ザーンのステータス画面のゾーン ステータス テーブルで、ゾーンのステータス要約にある **Pending Dynamic filters** をクリックします。

Recommendations 画面が表示されます。

ステップ 3 目的の推奨事項の # of PFs (Pending Filters; 保留中のフィルタ) カラムに表示されている数値をクリックします。Pending dynamic filters 画面が表示されます。

ステップ 4 目的の保留動的フィルタの Details カラムにある **i** をクリックします。Filter details 画面が表示されます。

保留動的フィルタの詳細には、次の情報を表示する 3 つのテーブルが含まれています。

- フィルタを作成したポリシー。
- 攻撃フロー。
- フィルタ作成のトリガー。このテーブルには、攻撃トラフィックが超過したポリシーのしきい値、およびフィルタ作成の原因となった攻撃の概算レートが表示されます。

保留動的フィルタの受け入れ

保留動的フィルタの一部を選択して受け入れるには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。
- ステップ 2** 次のいずれかの方法で、推奨事項のリストを表示します。
- ゾーンのメイン メニューの **Detection > Recommendations** を選択します。
 - ゾーンのステータス画面のゾーン ステータス テーブルで、ゾーンのステータス要約にある **Pending Dynamic filters** をクリックします。
- Recommendations 画面が表示されます。
- ステップ 3** 目的の推奨事項の # of PFs (Pending Filters; 保留中のフィルタ) カラムに表示されている数値をクリックします。Pending dynamic filters 画面が表示されます。
- ステップ 4** Filters timeout ボックスに、動的フィルタのタイムアウト値 (秒) を入力します。
- ステップ 5** 目的の保留動的フィルタ (アクティブにするフィルタ) の隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 6** **Accept** をクリックします。選択した保留動的フィルタがアクティブになります。
-

ゾーンの動作モードの変更

ゾーンへの攻撃を管理するときの **Detector** モジュールの動作モードによって、攻撃の進行中に動的フィルタがアクティブにされる方法が決まります。次のいずれかのモードで動作するように **Detector** モジュールを設定できます。

- 自動動作モード： **Detector** モジュールは、動的フィルタを作成すると、それらをすべてアクティブにします。
- インタラクティブ動作モード： ユーザは、 **Detector** モジュールが攻撃の進行中に作成する動的フィルタの推奨事項に対応する必要があります。 **Detector** モジュールの推奨事項をアクティブにすることも、無視することもできます。

ゾーンの動作モードは、ゾーンの設定の一部として設定します。ゾーンの動作モードの設定値は、 **Detector** モジュールがゾーンへの攻撃を管理している間を含め、いつでも変更できます。

この項は、次の情報で構成されています。

- [ゾーン動作モードの自動への変更](#)
- [ゾーン動作モードのインタラクティブへの変更](#)
- [保留動的フィルタの数が 1,000 を超えた場合の対応](#)

ゾーン動作モードの自動への変更

ゾーンの動作モード設定をインタラクティブから自動に変更するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。
 - ステップ 2** ゾーンのメイン メニューの **Configuration > General** を選択します。General 画面が表示されます。
 - ステップ 3** **Config** をクリックします。Config 画面が表示されます。
 - ステップ 4** Operation Mode parameter ドロップダウン リストから、**automatic** を選択します。

■ ゾーンの動作モードの変更

- ステップ 5** **OK** をクリックします。Detector モジュールが、ゾーンの設定を新しい動作モード設定でアップデートします。ゾーンの動作が現在アクティブになっている場合、Detector モジュールは、すべての保留および新規の動的フィルタを自動的にアクティブにします。
-

ゾーン動作モードのインタラクティブへの変更

ゾーンの動作モード設定を自動からインタラクティブに変更するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。
- ステップ 2** ゾーンのメイン メニューの **Configuration > General** を選択します。General 画面が表示されます。
- ステップ 3** **Config** をクリックします。Config 画面が表示されます。
- ステップ 4** Operation Mode parameter ドロップダウン リストから、**interactive** を選択します。
- ステップ 5** **OK** をクリックします。Detector モジュールが、ゾーンの設定を新しい動作モード設定でアップデートします。異常の検出が現在アクティブになっている場合、Detector モジュールは攻撃を検出すると推奨事項を作成します。
-

保留動的フィルタの数が 1,000 を超えた場合の対応

ゾーンのステータス画面に表示される保留動的フィルタの数が 1,000 を超えると、Detector モジュールは、ログ ファイルに新しい推奨事項の情報を記録してから、それらの推奨事項の廃棄を開始します。保留動的フィルタの数が 1,000 を超えた場合は、ゾーンの動作モードを自動に変更することをお勧めします。自動動作モードで動作している場合、Detector モジュールは動的フィルタを作成すると、それらをすべてアクティブにします。



(注) 保留動的フィルタの数が 1,000 フィルタを超えたときは、動作モードに関して推奨された変更を適用する前に、まず異常の検出を非アクティブにする必要があります。ゾーンの動作モードを変更する前に異常の検出を非アクティブにする必要があるのは、この場合のみです。

保留動的フィルタの数が 1,000 フィルタを超えたときに、ゾーンの動作モードを自動に変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 ナビゲーション ペインでゾーンを選択します。ゾーンのメイン メニューとゾーンのステータス画面が表示されます。
- ステップ 2 **Deactivate** をクリックします。Detector モジュールは異常の検出を停止し、すべての保留動的フィルタを削除します。
- ステップ 3 ゾーンのメイン メニューの **Configuration > General** を選択します。General 画面が表示されます。
- ステップ 4 **Config** をクリックします。Config 画面が表示されます。
- ステップ 5 Operation Mode parameter ドロップダウン リストから、**automatic** を選択します。
- ステップ 6 **OK** をクリックします。ゾーンの設定が、新しい保護モード設定でアップデートされます。

■ ゾーンの動作モードの変更

ステップ 7 Protect をクリックします。Detector モジュールはゾーンの自動動作を開始し、動的フィルタを作成すると、それらをすべてアクティブにします。
